

2017年4月19日

**Dolby Atmos[®]*1、DTS:XTM*2、HDR*3/4K映像伝送、ハイレゾ再生*4に対応し、
音の基本性能もさらに向上させた AV レシーバー3 機種を発売**

**ヤマハ AV レシーバー
『RX-V583』 『RX-V483』 『RX-V383』**

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos[®]および DTS:XTM(いずれも RX-V583 のみ)、HDR/4K 映像伝送(全機種)、ハイレゾ再生(RX-V583/V483 のみ)に対応するとともに、ヤマハ HiFi オーディオのノウハウを傾注して音の基本性能もさらに向上させた 7.1ch ネットワーク AV レシーバー『RX-V583』および 5.1ch ネットワーク AV レシーバー『RX-V483』を 5 月下旬より、5.1ch AV レシーバー『RX-V383』を 5 月中旬より、それぞれ全国で発売いたします。

*1:Dolby Atmos[®](ドルビーアトモス)=ドルビーラボラトリーズ社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。(RX-V583 のみ対応)

*2:DTS:XTM(ディーティエス エックス)=DTS 社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。(RX-V583 のみ対応)

*3:HDR(ハイダイナミックレンジ)映像伝送=従来より幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

*4:DSD5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit をサポート。(RX-V583/V483 のみ対応)

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-V583	(B)ブラック	72,000円(税抜)	10,000台	5月下旬
AVレシーバー	RX-V483	(B)ブラック	61,000円(税抜)	13,000台	5月下旬
AVレシーバー	RX-V383	(B)ブラック	48,000円(税抜)	18,000台	5月中旬

<製品概要>

今回発売する『RX-V583』(ネットワーク対応 7.1ch モデル)、『RX-V483』(ネットワーク対応 5.1ch モデル)、『RX-V383』(5.1ch モデル)は、Dolby Vision Compatible^{*1}や Hybrid Log-Gamma^{*2}などの HDR 映像伝送、BT.2020^{*3}規格、HDCP2.2^{*4}(全入出力)、4K/60p^{*5}映像信号に対応した HDMI 端子、Bluetooth[®]オーディオ送受信機能などを搭載した「RX-V シリーズ」の AV レシーバーです。このうち『RX-V583』と『RX-V483』にはネットワーク機能と Wi-Fi を内蔵し、さらにシリーズ最上位機種種の『RX-V583』には 3 次元サラウンドフォーマットの Dolby Atmos[®]および DTS:XTMに対応したデコーダーも搭載しています。加えて、2ch ステレオ仕様 D/A コンバーター(RX-V583/V483)の採用や、当社製 HiFi オーディオアンプと同等の音響専用パーツの積極投入、DSP デバイスのアップグレード(RX-V483)などにより、音の基本性能も向上させました。独自の音場創生技術「シネマ DSP」や視聴環境最適化システム「YPAO」の装備とも相まって、最新の 4K コンテンツから近年利用者が増加している動画・音楽の定額制配信メディア、そして来るべき HDR 映像ソースに至るまで、あらゆる AV ソースをよりリアルな臨場感と高純度な音質で再現します。

*1:Dolby Vision Compatible(ドルビービジョン コンパチブル)=ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術「Dolby Vision」の映像伝送機能。ファームウェア更新により対応予定。 *2:Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ)=NHK と英国 BBC が共同提案する HDR 方式。ファームウェア更新により対応予定。 *3:BT.2020=ITU-R 勧告に定められた Ultra HDTV(4K/8K)の色域規格。 *4:HDCP2.2=4K 映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。 *5:4K/60p= 4K(4,096×2,160 画素)の解像度を持つ映像を、1 秒間に 60 コマで表示すること。



【RX-V583/V483/V383 主な特長】

1. 「Dolby Atmos®」&「DTS:X™」対応デコーダーを搭載(RX-V583)

2. HDR(Dolby Vision Compatible*、Hybrid Log-Gamma*)、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子

*ファームウェア更新により対応予定

3. ヤマハ HiFi アンプのノウハウを傾注した音質重視設計と、独自の音場創生技術「シネマ DSP」による臨場感の追求

・フルディスクリート構成パワーアンプ、2ch ステレオ仕様の新 DAC(RX-V583/V483)、音響専用コンデンサーなどを採用した HiFi 基準の音質重視設計

・AVENTAGE シリーズと共通の高性能 DSP デバイスを採用(RX-V583/V483)するなど、高い情報処理能力を追求した独自の音場創生技術「シネマ DSP」

・シネマ DSP の音場効果を室内環境に応じて最適化する DSP エフェクトノーマライゼーションを装備した「YPAO」

4. Wi-Fi 経由でのハイレゾ音楽再生や専用アプリを使ったワイヤレス操作を実現するネットワーク機能(RX-V583/V483)

・DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート

・家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型

5. 圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせる専用開発ミュージックエンハンサーも併用可能な Bluetooth®オーディオ送受信機能

6. 操作アプリ「AV CONTROLLER」や聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、 「Spotify Connect」対応など多彩なユーティリティ機能(RX-V583/V483)

〈RX-V583/V483/V383 主な特長〉

1. 「Dolby Atmos®」&「DTS:X™」対応デコーダーを搭載(RX-V583)

Dolby Atmos®(ドルビーアトモス)とDTS:X™、ふたつの3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のあらゆる位置に定位または移動させ、3次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。5.1.2chスピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーはフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンから選択できます。またDTS:X™再生時には「DTSダイアログコントロール*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

*:本機能はDTSダイアログコントロール対応のDTS:X™コンテンツ再生時に限り有効です。



5.1.2chスピーカー構成に対応した3パターンのプレゼンスピーカーが選べます。

2. HDR(Dolby Vision Compatible、Hybrid Log-Gamma)、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー &4K アップスケーリングに対応した HDMI 端子

最新の著作権保護技術HDCP2.2(全入出力)、Ultra HD Blu-ray規格に規定されたHDR映像伝送やBT.2020映像伝送、4K/60p 4:4:4映像信号のパススルー/4Kアップスケーリングに対応した4入力/1出力のHDMI端子を装備しました。さらに、映像の色域とダイナミックレンジを大幅に拡大して華やかな色彩や豊かなディテールを再現する高画質化技術「Dolby Vision(ドルビービジョン)*1」の映像伝送を可能にする「Dolby Vision Compatible」や、放送局が推奨するHDR方式「Hybrid Log-Gamma(ハイブリッドログガンマ)*1」にも対応します。また、テレビと本機とを1本のHDMIケーブルで接続し、テレビ側の音声の本機経由で再生できるオーディオリターンチャンネル(ARC)*2、他社製テレビ/レコーダーとのリンク機能*2を利用することで、設置や操作がより簡単に行えます。

*1:ファームウェア更新により対応予定。

*2:HDMIによるリンク機能(HDMIコントロール)は、本機~対応テレビ(レコーダー)間をHDMI接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください。http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/



4K Ultra HD Pass-Through/Up-scaling HDCP2.2



COMPATIBLE DOLBY VISION

ドルビービジョン映像伝送対応 (ファームウェア更新により対応予定)

3. ヤマハ HiFi アンプのノウハウを傾注した音質重視設計と、独自の音場創生技術「シネマ DSP」による臨場感の追求

●フルディスクリット構成パワーアンプ、2ch ステレオ仕様の新 DAC (RX-V583/V483)、音響専用コンデンサーなどを採用した HiFi 基準の音質重視設計

ヤマハ HiFi プリメインアンプにも使用される 2ch ステレオ仕様のバーブラウン 384kHz/32bit*1 D/A コンバーターを 5 基 (RX-V583) または 4 基 (RX-V483) 搭載*2 した D/A セクション、新設計のアナログ/デジタル完全分離パワーサプライなどを RX-V583/V483 に採用し、定評ある音の基本性能をさらに向上させました。また RX-V383 についても、ヤマハ HiFi プリメインアンプと共通のブロックケミコンやカップリングコンデンサーなどの音響専用パーツの投入や入念な音質チューニングによって、ベーシックモデルでありながら HiFi 基準の高音質を追求しています。もちろん、フルディスクリット構成パワーアンプ (RX-V583:7ch、RX-V483/V383:5ch) やロージッター PLL 回路も全機種に採用しています。

*1: 本機で再生可能なファイルフォーマットは最大 192kHz/24bit です (DSD 除く)。

*2: 5 基 (RX-V583) または 4 基 (RX-V483) のうち各 1 基はネットワーク音声配信専用に割り当てています。



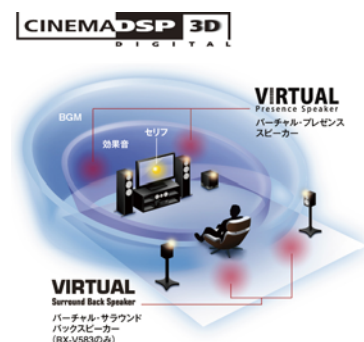
2chステレオ仕様のバーブラウン384kHz/32bit*1 D/Aコンバーター(写真はRX-V583のものです。)

●AVENTAGE と共通の高性能 DSP デバイスを採用 (RX-V583/V483) するなど、高い情報処理能力を追求した独自の音場創生技術「シネマ DSP」

ヤマハ独自の音場創生技術「シネマ DSP」による、映画や音楽、テレビ放送、ゲームなどさまざまなソースに合わせて最適化した 17 種類*1 の多彩なサラウンドプログラムを全機種に搭載しています。特に RX-V583 にはハイグレード AV レシーバー「AVENTAGE」シリーズと共通の高速大容量 DSP デバイスを 2 基、RX-V483 には同デバイスを 1 基投入して高い情報処理能力を追求したほか、仮想のプレゼンスピーカーをリスニング空間に生成する「バーチャル・プレゼンスピーカー」機能や、セリフの位置 (高さ) と音量を単独で調整できる「ダイアログリフト&レベル調整*2」も装備しました。さらに 7.1ch モデルの RX-V583 では、内蔵パワーアンプの 2ch 分をフロントプレゼンスピーカーまたはサラウンドバックスピーカーに割り当てられるアサイン機能により、実物のプレゼンスピーカーを使用したリアルな「シネマ DSP (3D モード)」再生にも対応します。

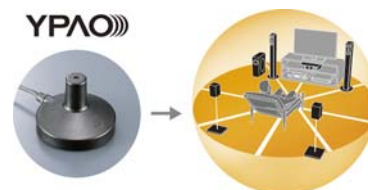
*1: シネマ DSP 技術を活用したサラウンドプログラム数。それ以外も含めたプログラム総数は RX-V583/V383 が 34 種類、RX-V483 が 33 種類となります。

*2: 「ダイアログリフト」は RX-V583 のみ、「ダイアログレベル調整」は RX-V483/V383 を含む全機種に装備しています。また本機能は DTS:X™ 再生時および Dolby Surround、Neural:X デコーダー選択時には動作しません。



●シネマ DSP の音場効果を室内環境に応じて最適化する DSP エフェクトノーマライゼーションを装備した「YPAO」

各スピーカーから視聴ポイントまでの距離や総合的な周波数特性など室内の音響特性を計測～補正する視聴環境最適化システム「YPAO」を全機種に搭載しました。「YPAO」の計測結果に基づいて音場効果を最適化し、よりリアルなシアターサウンドを再現する DSP エフェクトノーマライゼーションとも相まって、音の良さと臨場感を最大限に引き出します。



4. Wi-Fi 経由でのハイレゾ音楽再生や専用アプリを使ったワイヤレス操作を実現するネットワーク機能 (RX-V583/V483)

●DSD 5.6MHz、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit、

Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポート

ジッターノイズの発生を大幅に低減してハイレゾ音源特有のデリケートな音の違いも忠実に描き分ける、ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールを搭載したネットワークオーディオ部は DSD 5.6MHz 再生、AIFF/WAV/FLAC 192kHz/24bit 再生、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生をサポートします。ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生にも対応しています (DSD を除く)。



●家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 内蔵型

家庭内ネットワークへ無線 LAN 経由で接続できる Wi-Fi 機能を内蔵し、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、「AV CONTROLLER」アプリでのワイヤレス操作を実現しました。さらに、端末内の音楽コンテンツのワイヤレス再生や、「AV CONTROLLER」での操作などが無線 LAN 環境のない場所で手軽に行える「Wireless Direct」も内蔵しています。

※無線 LAN と有線 LAN との同時接続はできません。Wi-Fi または有線 LAN 接続と Wireless Direct 接続との同時使用はできません。無線 LAN で接続できる距離は環境に依存します。



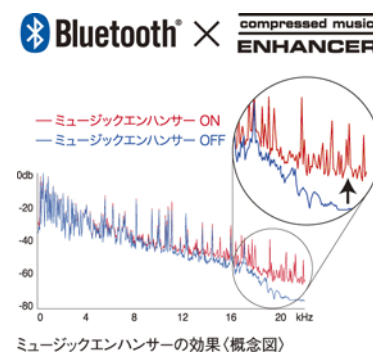
内蔵Wi-Fi機能の使用例
(家庭内ネットワークにワイヤレス接続)

5. 圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせる専用開発ミュージックエンハンサーも併用可能な Bluetooth®オーディオ送受信機能

スマートフォンやタブレットなど、お手持ちの Bluetooth®対応機器の音声を本機でワイヤレス再生(受信)したり、本機の音声*1を Bluetooth®対応ヘッドホンやスピーカーなどで聴ける(送信)、Bluetooth®オーディオ送受信機能を全機種に搭載しました。高音域の情報量や低音域の明瞭度が失われがちな圧縮音声を効果的に補正(右図参照)するヤマハ独自の Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーを併用*2すれば、Bluetooth®の圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせます。さらに RX-V583/V483 では、いっそうクリアな音質で遅延の少ない AAC フォーマット(受信時のみ)にも対応しています。

*1: AirPlay および DSD の音声は Bluetooth®送信できません。

*2: ミュージックエンハンサーは Bluetooth®受信時のみ有効です。



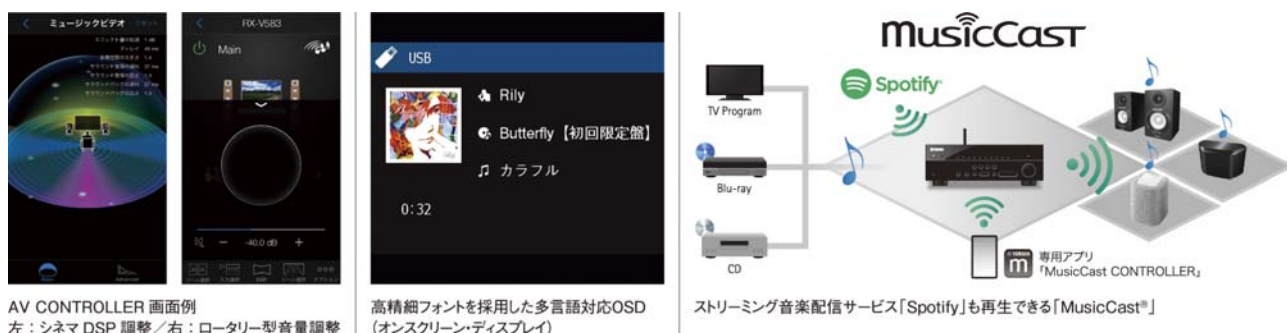
ミュージックエンハンサーの効果(概念図)

6. 操作アプリ「AV CONTROLLER」や聴く楽しさを家中に広げる「MusicCast®」、 「Spotify Connect」対応など多彩なユーティリティ機能(RX-V583/V483)

ヤマハ AV レシーバー用アプリ「AV CONTROLLER」対応をはじめ、家庭内に設置した複数の MusicCast 対応音響機器(本機含む)の操作や機器間での音楽コンテンツの配信・共有・リンク再生などがひとつの専用アプリ*1 で行えるヤマハ独自の「MusicCast®(ミュージックキャスト)」、ストリーミング音楽配信サービス「Spotify」の楽曲を、Spotify アプリでリモコンのように操作しながら本機で再生できる「Spotify Connect(スポティファイコネクト)*2」への対応など、ネットワーク AV レシーバーならではの多彩なユーティリティ機能を RX-V583/V483 に装備しました。なお、音楽コンテンツ情報の詳細表示にも対応した高精細フォント採用の多言語対応 OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)は RX-V383 を含む全機種に採用しています。

*1: 専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」(無償)により本機の基本操作および MusicCast®によるネットワーク再生が可能です。

*2: Spotify Connect の使用には Spotify アプリ(無料)のインストールと Spotify Premium アカウント(有料)への登録が必要です。



【RX-V583/V483/V383 その他の特長・機能】●フロント USB&アナログ音声入力端子●メインスピーカーにコンパクトスピーカーを使用する場合やサブウーファーなしのシステムでも力強く躍動感のある低音を再現する Extra Bass(エクストラベース)●サラウンドスピーカーをフロント側に配置し、臨場感あふれるサラウンド再生を省スペースで味わえるバーチャルシネマフロント●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術●FM 補完放送も受信できる 40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるブックマーク&オートプレイに対応したインターネットラジオ機能(RX-V583/V483)●よく使う映像ソースや音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できる SCENE ボタン●本機とネットワーク接続した MusicCast®対応機器の電源を本機と連動してオン/オフできる MusicCast Link 電源連動(RX-V583/V483)●キッチンや寝室などの別室に置いたスピーカーで音楽などを楽しめるゾーン B 対応スピーカー端子(RX-V583/V483)●本機の配線・設定作業をサポートする専用アプリケーション「AV SETUP GUIDE」(タブレット専用)対応●ECO モード、オートスタンバイ機能などにより業界最高水準の省電力を実現

RX-V シリーズスペシャルサイト http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/special/rxv_series/

「ヤマハ オーディオ製品 ご購入キャンペーン」を実施

期間中、ヤマハ AV レシーバー『RX-V583』『RX-V483』『RX-V383』を含む対象のヤマハ オーディオ製品をご購入の方に、オンライン動画配信サービス「hulu」の視聴 2 か月分をもらえなくプレゼントする「ヤマハ オーディオ製品 ご購入キャンペーン」を 2017 年 4 月 29 日から実施します。

■**キャンペーン期間** 2017 年 4 月 29 日(土・昭和の日)～2017 年 7 月 18 日(火)

■**プレゼント品** オンライン動画配信サービス hulu 視聴 2 か月分

●対象製品など詳細はキャンペーン専用ホームページにてご確認ください。

「ヤマハ オーディオ製品 ご購入キャンペーン」 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/campaign_2017summer/

<RX-V583/V483/V383 主な仕様>

型番		RX-V583	RX-V483	RX-V383
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	80W/ch(6Ω、0.09%THD)	80W/ch(6Ω、0.09%THD)	70W/ch(6Ω、0.09%THD)
	1kHz、1ch 駆動	115W/ch(6Ω、0.9%THD)	115W/ch(6Ω、0.9%THD)	100W/ch(6Ω、0.9%THD)
実用最大出力(JEITA)	1kHz、1ch 駆動	135W/ch(6Ω、10%THD)	135W/ch(6Ω、10%THD)	135W/ch(6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		7	5	5
音声入力	アナログ	4 系統:ステレオ RCA 3、ステレオミニ 1		3 系統:ステレオ RCA 2、ステレオミニ 1
	デジタル	3 系統:光 1、同軸 2		
音声入力(その他)		3 系統:USB 1、ネットワーク(Ethernet)1、ネットワーク(Wireless)1		1 系統:USB 1
映像入力		3 系統:コンボジット 3		
音声出力	スピーカー出力	7ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R、サラウンドバックL/R [フロントプレゼンス、Bi-AMP、ZoneB 兼用])	5ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R [Bi-AMP、ZoneB 兼用])	5ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R)
	PRE OUT	サブウーファー(MONO)×2	サブウーファー(MONO)×1	
	その他出力	1 系統:ヘッドフォン 1		
モニター出力端子	MONITOR OUT	1 系統:コンボジット 1		
HDMI 入力		4(HDCP2.2 に対応)		
HDMI 出力		1(HDCP2.2 に対応)		
HDMI バススルー		4K/60p(YCbCr=4:4:4)、HDR(10bit/12bit)、Dolby Vision Compatible*、Hybrid Log-Gamma*、BT.2020 伝送		
4K アップスケーリング		HDMI 入力信号のみ対応		
シネマ DSP プログラム数		17		
オブジェクトオーディオ対応		Dolby Atmos®/DTS:X™ 対応	—	—
Bluetooth®再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR		
	対応プロファイル	送受信時:A2DP/AVRCP		送受信時:A2DP
	対応コーデック	受信時:SBC/AAC、送信時:SBC		送受信時:SBC
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2		
	最大通信距離	10m(障害物のない見通し距離)		
ネットワーク関連機能	Wi-Fi/Wireless Direct	○(IEEE802.11b/g/n 準拠)/○		—
	DLNA1.5 対応	○		
	対応音声フォーマット(USB、サーバー)	DSD 5.6Mz、Apple Lossless 96kHz/24bit、MPEG4-AAC、WAV/FLAC/AIFF 192kHz/24bit、MP3、WMA		MPEG4-AAC、WAV 48kHz/16bit、MP3、WMA ※USBのみ
	ギャップレス再生	○(WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF に対応)		—
	AirPlay/ミュージックプレイ	○/○		
	機器連携	○(MusicCast®機能)		
	ストリーミングサービス	○(インターネットラジオ、Spotify Connect 対応)		
チューナー		AM/FM(ワイド FM 対応)		
アプリ操作		AV CONTROLLER/MusicCast CONTROLLER での操作		—
消費電力		260W		
待機時消費電力	HDMI コントロール OFF/スタンバイスルー-OFF 時	0.1W		0.3W ※HDMI コントロールのみ OFF
	HDMI コントロール ON/スタンバイスルー-ON 時	1.1W		0.9W ※HDMI コントロールのみ ON
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired:スタンバイスルー-OFF 時 1.7W/スタンバイスルー-ON 時 2.3W Wi-Fi:スタンバイスルー-OFF 時 1.8W/スタンバイスルー-ON 時 2.3W Wireless Direct:スタンバイスルー-OFF 時 1.8W/スタンバイスルー-ON 時 2.4W		—
	Bluetooth®スタンバイ ON 時	スタンバイスルー-OFF 時 1.6W/スタンバイスルー-ON 時 2.3W		最大 1.2W
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×161H×327D mm(Wi-Fi アンテナ直立時:435W×225.5H×327D mm)		435W×151H×315D mm
質量		8.1kg		7.4kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、取扱説明書、セットアップガイド		

*:ファームウェア更新により対応予定

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。



ヤマハ AVレシーバー『RX-V583』 カラー:(B)ブラック
 本体価格 72,000 円(税抜)



アンテナは設置環境に応じて
 角度を変えることができます。

※RX-V583(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
https://www.yamaha.com/ja/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V583』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v583_j/



ヤマハ AVレシーバー『RX-V483』 カラー:(B)ブラック
本体価格 61,000 円(税抜)

※RX-V483(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
https://www.yamaha.com/ja/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V483』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v483_j/



ヤマハ AVレシーバー『RX-V383』 カラー:(B)ブラック
本体価格 48,000 円(税抜)

※RX-V383(B)の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
https://www.yamaha.com/ja/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V383』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v383_j/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 ブランド・商品広報グループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)